



刊夕日六月九

寄書
隣國漫談 (一)
星野輝吉
過ぐる年のワシントン會議の折或日の席上で米國の委員が支那とは何ぞやと云ふ奇問を發して當時のニュースを賑はしたことがあり、實際僅か一章帯水のお隣に住んで居て歴史的にも修好淺からず併も同程同文永いこと親善と提携を口にしている吾々日本人にしてか

びであつたらう、實際支那は謎の國だ且つて袁世凱の革命の爲めに愛親覺羅氏三百年の社稷が倒れ五族共和の國が出来上つたかと思ふと哀れにして己に十數年戦争を年中行事としてその間一の寧日なく財政の紊亂その極に達し且つて後或外人をして支那は民國十四年六月末日を以て破産すと喝破せしめて愈々行詰ると見るや當啖ぎ乍らもその歩を辿つて居る、道は古來廿四の易世革命を経験した大國の面影がある其處に又支那の生命がある、實際支那は謎の國だ。扱私自身も一体はからお隣の國の何の事に就て

書いたらよいかさへ迷つて戦争や軍閥の消息は年來皆様が毎日の新聞で御承知の事だし財政のことも莫大な内外債や美余鹽余の事裁留と中政府との關係結局支那政府の財政は毎年一億二三千萬之の不足を生ずる等と膨大な数字をのみ並べて見た處で余り興味あるものが出来そう筈がない、で數年學窓であらうの留學生と机を並べて支那事情を研究して居る間にその時折に盛じたことどもを極く斷片的に書いて見ることにする
(つゞく)

平開町通御披露 電話

番號	架設者
三六七	簡易旅館 藤田屋 平町共濟病院前
七二二	麻生川 顯 仲間町
七三二	辯護士 酒井喜代正 播 槌 小路
七三八	今ゴム足袋製造元 分 堺屋綿布店 南町



殺虫消毒防臭乳劑の世界的新發明
「乳劑カルシウム」
本劑ノ殺虫力ハ石油乳劑ノ約百倍ノ効力ト七十倍ニ當ル殺菌力ヲ持ツテ居ル事ハ帝大傳染病研究所及衛生試驗所ニテ證明シテ居マス
（本劑ノ特性）
一、人畜、植物ニ無害ア昆虫ノ幼虫及卵ヲ殺死スル
一、蒸尿其他ニ用ヒラシテ肥料効力ニ變化ナク却テ殺蛆ノ外完全ナク殺菌アル故ニ農藥施上願ル安全ナリ
効能 便所芥捨場等不潔場所殺菌 植物等ノ害虫驅除
定價 五升分一本 八拾錢
製造元 東京微生物研究所
福島縣一手販賣店
宇佐美藥局
平町田町「電話五五一番」

第十回 福引大賣出し
八月二十七日より向ふ十五日間
御運次第で
百圓の品も只
特等 十割引五本、一等 五割引二十本
二等 一割引二百五十本、三等 三分引七百廿五本
中野吳服店
平町三丁目（電話六七七番）

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平南町（電話一七〇番）
召し上れ
飛切り美味しい
マツモトの
特製カステーラ
一本拾錢
ヤトモツマ
番四一二話電

自乗用者へ 轉音 福
購入の便法あり
エバニエストラ
キャビネット
日掛けや月掛等の方法に依り望みに依つては現品を前渡し致します
平町播槌小路
自轉車及 鹽野平支店
附屬品店
本店 東京市神田區末廣町一〇

故父兼次郎儀
葬送の際には御多用中にも不拘遠路御會葬被下難有御禮申上候早速拜趨御禮可申上之處混雜中に付き乍略儀不取敢以紙上御厚禮申上候
九月六日
大里正之助

電氣時計
店頭ニ正確ナル時計ヲ取付マシタ御通りノ際ハ御合セ下サイ
秋の夜長 には蓄音器 一家團樂 には蓄音器 新譜各種取揃ました
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

看護婦派出の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

美味 評判 イウキ食堂
オの部電話四六〇番
平町播槌町（縣社通り）
種々 関内藥局
電話四〇番

貸家廣告
一、停車場前旅館水道造作風呂附
一、内郷村小島紳士向住宅八疊、六疊二間物置風呂場附一ヶ月金拾貳圓
一、平劇場ワキ紳士向三間金十五圓
一、同 勤人向金十圓
一、同 仲町商店向金十圓
一、同 勤人向金五圓
一、同 同 金十圓
一、北白銀町同金八圓半錢
加藤營業所
白銀町 電話三三番

觀衆の熱狂裡に 各競技華々しく

昨日の石城郡青年体育大會 平町は頗る好成绩

既報石城郡聯合青年團体育大會は昨日午前十時より磐城中学校新グラウンドに於て開催、先づ滑川團長の訓示あつて百米競走の豫選に始まり

各町村 より選拔さ

れた選手はユニホーム姿凛々しく勇躍して無慮三千の觀衆を熱狂せしめ應援激勵の聲四邊を壓し非常な盛況を呈したが正午迄に各競技の豫選を了し午後一時から愈々決勝に移り一層觀衆は緊張し午後四時閉會を告げた因に

當日の 優勝者氏名

は左記の如くにて来る廿四日平町に開催される縣下聯合青年團の競技に参加する事となる

- 百米決勝**
 - 一、十二秒 玉川 丹忠義
 - 二、小名 小野直千賀
 - 三、好間第一 猪狩一郎
- 四百米決勝**
 - 一、一分一秒 小名 齊藤安之丞
 - 二、平窪 江尻忠平
 - 三、玉川 山崎一
- 千五百米決勝**
 - 一、四分五秒 夏井 星野喜一
 - 二、三坂 阿部貞一
 - 三、好間第一 藤原 永山儀二
 - 四、好間第一 草野 寛
 - 五、豐間 四家 幸
 - 六、磐崎 酒井喜助
- 一萬米決勝**
 - 一、三十九分 藤原 永山儀二
 - 二、好間第一 草野 寛
 - 三、豐間 四家 幸
 - 四、磐崎 酒井喜助

走中跳

- 一、五米 平 花澤輝一
- 二、草野 相川泰良
- 三、平窪 矢吹長貴

砲丸投

- 一、玉川 鈴木左馬太
- 二、好間第一 磯澤軍三
- 三、玉川 渡邊二男夫
- 四、八百米リレー

相撲

- 一、平 小林久吾
- 二、田人 小田行雄
- 三、泉 久保昌雄

劍道

- 一、高久 藁谷久太郎
- 二、小名 吉田豊吉
- 三、澤渡 大谷東雄

柔道

- 一、勿來第一 舟生 稔
- 二、平 關内基平
- 三、四倉 片寄秀士
- 四、好間第一 山野邊唯一

走高跳

- 一、好間第一 山野邊唯一

相談役辭職

狭政會で決定

前縣議鈴木辰三郎氏が周囲の事情を顧慮して狭政會の相談役及び常務露商組合の顧問を辭すべく夫々辭表を出した事は既報の如くにて其後種々引止め策を講じた模様であるが鈴木氏が斷然意を譲さざる爲め狭政會にては一日午後七時より赤

塚副會長宅にて幹部會を開き協議の結果已むなきものとして辭表を受くる事になつた由

山林總會 開

來月十七日 本縣山林會總會は來る十月十七日の兩日木炭品評會に引續いて平町舊郡役所會議室に於て開催されるが來會者五百餘名に達すべく縣下新業功勞者に對する表彰状

暴風雨被害少く 稲作は心配なし

石城農試分場發表

本縣農事試驗場石城分場が去る四日暴風雨後の稲作状況を調査した結果に依ると大暑以來氣温は昂騰して日照時間多く降水量もまた相當あり出穂當時に於て殊に氣温順調に進んだので早生は八月二十四、中生は八月二十六日晩生は同月二十八日前後に出穂し作柄は今御の天候さへ順調なるを得れば好成绩を得ること疑ひなし

川部の山奥に 五マイの林道 完成は十月



山葵と南瓜料理(二)

▽をぼろ。餡かけ。豚肉を挽き、小鍋に入れて出汁(一合)と味淋(大匙二杯)を加

石城郡川部村大字眼鏡の國へてぼろ。とし火にかけ沸立つて来た頃に醤油(大匙二杯)を加へて味を付け片栗粉(小匙山盛一杯)を水溶きとし、ごろ。に成つたら生姜の搾り汁一個分を加へて火より下して南瓜にかける

調理し水洗ひして縦に割り種を取り去つた南瓜を一寸

飛び乗り損ね 腰部に重傷

石城郡渡邊村字中鍋戸大工柴田千代吉(○)は三日午前六時十五分頃小名濱濱泉行軌道自動車が小名濱町字二本松地内進行中後方から飛び乗らんとし足を踏み外して轉落腰部や足部に重傷を負ふたと

天氣 豫報(日) 南東の風 一時晴れ

角位に切り老いた部分の皮を剥ぎ、さつと水に濯いで洗い直し、水氣を切つて井に分れ適宜に鹽をしてその儘蒸籠の中で蒸し、七八分間を經ると充分蒸せるから取り出して四分の一宛を井に盛り前述した餡かけを上からどろりとかけて食膳に上せませす (をほり)

常磐片々

暴風雨何んするものぞ、稲作心配なし
と威張つて見ても實は今後の天候が氣に懸る
本紙に今後毎日當地方の天氣豫報を掲ぐ
昨日の郡下青年体育大會に平町好成绩を挙げ、此勢ひで縣下大會にも一踏ん張り頼みやんす
軌道自動車飛び乗り危険、落ちれば重傷、命懸け

各種農産物 加工品 賣販品

石城農試分場

石城郡神谷村の本縣農事試驗場石城分場では同所栽培の桃を以て罐詰を製造販賣すべく曩に約二千五百顆の袋かけをなし引續き丹精を凝らしつゝあつたが本年が初まりなるに加へ

兎角害虫

せられ勝て初期の成績を擧ぐる事が出来なかつたので本年は之れをその儘地方商人に拂ひ下來年度に於て之れが完成を期すべく今より計畫中であると云ふ、つ

ぎに之亦同場最初の試みなるマロン栽培は大体豫期に近い
出來榮(二) であつたので過般本縣御避暑中なりし久通宮に發個を献上したる外縣及本場の試食用として送り他は地方商人に拂ひ下した本年の收穫は六七十個に過ぎず目下尙引續き十一月頃收穫の見込にて苗の造成中であるが右の所謂

抑制栽培 は勿論同場最初の試みで栽培方法可なり面倒なるものあるので果して如何なる成績を収むるや殆ど見當つき兼ねる状態にあり單りらつきようの櫻詰は比較的優良の成績を

体裁も輕快に 磐城高女の 實用的冬服

平町磐城高等女學校では生徒の冬の正服を改良すべく研究中であつたが今回殆ど理想に近い正服が考案されたので來月十五日までには四年生以下各生徒全部に着

平町 人事

▲出生
▲鎌田町四〇 加藤拾吉氏五男信雄
▲四丁目四一 高崎洋三(二つ)
▲橋本小路一 大里兼次郎(四七)
▲南町一 佐藤滿男(五つ)